

通 告 質 問 一 覧 表

(令和元年9月定例会市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	8	5 番 三 村 靖 行	<p>1 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 平成 29 年度に有害鳥獣対策室を新設して有害鳥獣対策の推進をしているが、現在までの取り組みの成果を問う</p> <p>(2) 有害鳥獣対策室の今後について</p> <p>① 3 年間を目途に鳥獣被害を減らすとして対策室を新設したが、実績として被害が減少してない、効果があらわれてないのではないか。今後の本対策室の役割も含めて、どのように取り組むのか</p> <p>(3) 猿被害の現状と対策について</p> <p>① 猿の群数、頭数の、この3年間での推移をどのように把握しているのか</p> <p>② 猿の増加を食い止める対策や駆除をどのように考えているのか</p> <p>③ 猟友会との連携は機能しているのか</p> <p>④ 県が今年度策定したニホンザル第二種特定鳥獣管理計画に基づき、市は今後どのような取り組みを考えているのか</p> <p>2 旧吹屋小学校校舎の保存修理について</p> <p>(1) 工期を2年延長し7年とするとのことだが、なぜ2年かかるのか変更理由を問う</p> <p>(2) 事業費の増額理由を問う</p> <p>3 西日本豪雨災害について</p> <p>(1) 災害から1年経過し本格的に復旧事業が進められているが、工事発注は順調に進んでいるのか</p> <p>(2) 災害復旧事業の復旧工期が3年間とすれば、あと1年半で全て完了するのか。今後の見通しを聞く</p> <p>(3) 来年度に県が行う高梁川のしゅんせつ事業の予定を、市は把握しているのか</p>
2	4	8 番 石 部 誠	<p>1 水道事業の統合と料金引き上げについて</p> <p>(1) 事業統合による市民生活への影響について、市はどのように考えているのか</p> <p>(2) 来年4月から料金引き上げの予定であるが、市民合意をどのように求めていくのか</p> <p>(3) 市民説明会の開催や細やかな広報を行い、広く意見聴取を行うべきでないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	4	8 番 石 部 誠	<p>(4) 生命やなりわいにも必要不可欠な水道水は、安心、安定、安価に市民へ提供することが必要であり、市民合意に基づく計画の見直しを求める</p> <p>2 行財政改革プランと公共施設の使用料の引き上げについて</p> <p>(1) プランの全体像と進捗状況の説明を求める</p> <p>(2) 公共施設の使用料見直し及び使用料引き上げの理由について説明を求める</p> <p>(3) 地域活動や市民生活に直結するもの、また教育に関するものは市民負担を軽減こそすれ引き上げるべきでないと考ええるがいかがか</p> <p>3 アニメスタジオの解散について</p> <p>(1) アニメスタジオの運営会社が短期で破綻したものと考えるが、市は会社が予定していた事業計画や破綻した理由をどのように分析しているのか</p> <p>(2) 市は、解散後の清算手続きや吉備ケーブルテレビが行うとした事業継承の内容をどのように把握しているのか</p> <p>(3) 市は、破綻の責任はどこにあり、そこから導かれた教訓はどのようなものだと考えているのか</p> <p>(4) 補助金ありきで行政主導で進めるのではなく、やる気のある地域や団体、個人への応援をするべきではないか</p> <p>4 小規模特認校制度について</p> <p>(1) 小規模特認校制度で、学校の活性化がどのように図れるのか</p> <p>(2) 今後の計画の見通しは。また近隣自治体との協議をどのように行っているのか</p> <p>(3) 制度を推進することによる保護者や児童の負担軽減をどのように図るのか</p>
3	3	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 財政について</p> <p>(1) 来年度予算に向けて</p> <p>① 令和2年度予算はどのような考え方で編成していくのか</p> <p>② 災害からの復旧・復興事業の予算確保をどのように行っていくのか</p> <p>③ 復旧・復興を優先するなかで、来年度から事業の縮小や廃止を考えているものがあるのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	3	11 番 宮 田 好 夫	<p>2 行財政改革プランについて</p> <p>(1) 先日の全員協議会で公共施設の使用料見直しの考え方と見直し概要が示された。受益者負担の考え方は理解もできるが、公共施設は生涯学習の場や地域活動の拠点、青少年育成の場でもある。こうした視点での料金設定も必要ではないか</p> <p>(2) 全員協議会では 13 施設の使用料の見直し案が示されたが、対象施設の拡大はあるのか</p> <p>(3) 改革プランでは、補助事業の見直しや団体事務の見直し、委託料の見直しについては見直し基準により進めるとある。見直し基準はどのような内容で、対象事業の選定はどのようなになっているのか</p> <p>(4) 斎場使用料の改定案が示されているが、指定管理制度への移行を踏まえたものか</p> <p>(5) 窓口業務の民間委託の研究を進めていたが、その後どうなっているのか</p> <p>(6) 他の業務や施設も民間委託に移行されるものがあると思われるが、どのような基準で選定していくのか。また具体的に検討、調整しているものがあるのか</p> <p>3 総合計画について</p> <p>(1) 今年度は、平成 22 年度から令和元年度の 10 年間の計画期間とする高梁市新総合計画の最終年度となる。この 10 年間の総括や検証をどのように進めているのか</p> <p>(2) 新しい総合計画はどのような理念や目標を持ち、いつから策定していくのか</p> <p>(3) 復興計画や行財政改革プランとの関係はどうなるのか</p>
4	5	1 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 児童、生徒の登下校の安全について</p> <p>(1) 登下校時の荷物について</p> <p>① 小・中学校の登下校時の荷物が多すぎる、重すぎる現状をどのように認識している</p> <p>② 小・中学校においては、子供の発育状況や通学環境に合わせ、置き勉を認めるといった工夫をするべきではないか</p> <p>(2) 落合町阿部地内の国道 313 号の通学路の、自転車による高梁中学校からの下校時の安全性確保について</p> <p>① 高梁中学校からの下校時の通学路については、地域や学校、保護者から毎年のように改善要望が寄せられていると思うが、その対応策について問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	5	1 番 伊 藤 泰 樹	<p>② スクールバス、または路線バスの活用が考えられないか</p> <p>2 教科担任制について (1) 小学校において、教科担任制の導入は児童の学力向上に寄与し、教員の働き方改革につながると考えるが、導入の検討状況について問う</p> <p>3 屋内プールの検討について (1) 暑さ指数（WBGT）が活用されたことによる、学校や市民プールでの影響について ① 学校や市民プールの利用において影響があったのか ② 施設の暑さ指数（WBGT）を下げる対策はあるのか ③ 将来的には屋内プールの検討が必要ではないのか</p> <p>4 ききょう緑地グラウンドについて (1) 今後の整備内容と開放時期について問う</p> <p>5 旧吹屋小学校校舎の保存修理工事について (1) 工事の経過と工期が2年延長された理由について問う</p>
5	10	6 番 黒 川 康 司	<p>1 森林環境譲与税について (1) 森林環境譲与税の使用方法について、どのような計画を持っているのか</p> <p>2 持続可能な開発目標（SDGs）について (1) 本市も少子高齢化が非常に進んでおり、将来に向けて不安要素がたくさんあると思うが、市は持続可能な自治体を目指すために、行政の責務として何を基本理念として取り組んでいくのか</p>
6	1	9 番 石 井 聡 美	<p>1 アニメによるまちづくりについて (1) アニメによるまちづくりの行政での位置づけとその必要性を問う (2) アニメを産業と考えたとき、市はアニメによるまちづくりを推進するための基盤構築には何が必要だと考えているのか (3) 市外からの人材に頼り過ぎず、市内の人材の育成に力を入れるべきではないか</p> <p>2 教育行政について (1) 全国学力・学習状況調査について ① 今回の結果をどのように分析し、今後どのように対応していくのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	1	9 番 石 井 聡 美	<p>② 高梁市を始め多くの市町村では、今回テストを受けた中学 3 年生の学習状況調査で、1 時間以上学習していると答えた生徒の割合が小学 6 年生の時よりも減っている。一方、全国平均や今回県内でも好成績を収めた瀬戸内市ではふえている。中学生になって学習時間が減るのは、家庭での学習習慣がついていないからではないか。調査結果との相関をどう分析するか</p> <p>(2) ソサエティー5.0時代にあっては、想像力、創造力があり、それを表現するための知識や技術、実行力やコミュニケーション力を持つ人材が求められている。本市の学校教育は、現状ではそういった人材を生み出す体制が不足しているのではないか</p> <p>(3) 部活動について</p> <p>① 文化部が一部の中学校にしかなく、限られた選択肢しかないことは生徒の可能性を狭めているのではないか。部活動指導員や外部指導者の制度を活用し、文化部を運営できないか</p> <p>② 熱中症対策で部活動が中止になった場合に、暑さが一段落する時間まで校内でエアコンのある部屋を開放してはどうか</p>
7	2	16 番 川 上 博 司	<p>1 スクラム作戦（高梁市要支援児連携支援体制）について</p> <p>(1) 就学前から社会生活まで切れ目のない支援にしていくために、自立支援協議会との連携が必要ではないか</p> <p>2 選挙について</p> <p>(1) 18 歳選挙権の実施に伴い、市の主権者教育の状況はどのようになっているのか</p> <p>(2) 投票率向上につながる施策を検討すべきではないか</p> <p>① 投票所の入場券ハガキを宣誓書と併用できるようにすること</p> <p>② 投票所のバリアフリー化を進めること</p> <p>③ 期日前投票所を大型商業施設に設置すること</p> <p>④ 移動期日前投票所の開設や投票所への移動支援で、投票所まで距離が離れ、交通手段の確保が難しい選挙人の投票機会を確保すること</p> <p>(3) 選挙執行費用の経費削減に努めるべきではないか</p> <p>① 選挙公営掲示板設置箇所を削減すること</p> <p>② 県知事選挙と市長、市議会議員選挙を同日選挙とすること</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	9	4 番 森 上 昌 生	<p>1 動物愛護について</p> <p>(1) 動物愛護とは何か</p> <p>(2) 野良猫被害対策用の屋外表示板の改善策は検討されているのか</p> <p>(3) 野良猫被害に対する具体的な対策は</p> <p>(4) 野良猫を減らしていくための有効な手段は何か</p> <p>(5) TNR活動に対する市の理解はどのようなものか</p> <p>(6) 地域猫活動を行おうとする者に対し、市はどのような支援を考えているか</p> <p>(7) 備中町西山のピースワンコ・ジャパンと地元団体の運営する犬の保護施設に、市の施設を貸し出している立場から市はどのように関わっていくのか</p> <p>(8) 吉備中央町に中学校の廃校舎を利用した野良猫等の収容施設ができ、多くの相談が寄せられていると聞く。ニーズが高いと思うが、市はどのように認識されているのか</p> <p>2 高梁市の将来図について</p> <p>(1) 高梁市の人口減少を抑制する有効な手段があるのか</p> <p>(2) 市内の所有者不明不動産の実態は把握しているのか</p> <p>(3) 市内に 65 歳以上の高齢者のみの世帯はどれだけあるのか</p> <p>(4) 土地、家屋の有効利用を考える上でも所有者不明不動産の発生を抑える施策は考えられているのか</p> <p>(5) 市は昨年の災害からの復旧、復興が最優先課題として言われているが、復旧に対する手段は理解できるが、復興の具体的手段を問う</p>
9	11	7 番 石 田 芳 生	<p>1 防災・減災について</p> <p>(1) 台風 10 号への対応について</p> <p>① 防災対策については、昨年の災害の検証、復興計画、高梁川水害タイムライン等に基づいて進めているものと思うが、本年 8 月に発生した台風 10 号に対して、どのような対応をしたのか</p> <p>② 備蓄品や非常用のトイレの準備状況はどうであったか</p> <p>③ 福祉避難所の体制整備はどうであったか。今後の見直しはどうか</p> <p>(2) 新成羽川ダムが事前放流する場合の市としての対応はどのようなになっているのか、事前放流に対する対応や手順を再確認すべきではないのか。あわせて、災害時の市の対応や手順も再確認すべきではないのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	11	7 番 石 田 芳 生	<p>2 危険空き家対策について</p> <p>(1) 危険空き家対策について、地域住民が対策を講じようとする場合、市としてはどのような対策ができるのか</p> <p>3 学校教育について</p> <p>(1) 小規模特認制度を採用することの意義をどのように考えているのか</p> <p>(2) 文部科学省及び岡山県の学力・学習状況調査結果を踏まえて、今後どのような教育を実施していくのか</p>
10	6	3 番 平 松 賢 司	<p>1 農業政策について</p> <p>(1) 中山間地域等直接支払制度について</p> <p>① 高梁市では、この制度によりどういった成果を上げることができたのか</p> <p>② 本市の協定数と協定参加者数の現状を問う</p> <p>③ 第1期から今年度までの協定数と協定参加者数はどのように推移しているのか</p> <p>④ 市は協定数と協定参加者数の減少要因をどのように捉えているのか</p> <p>⑤ 市はこの現状を踏まえ、今後どのように第5期対策に取り組んでいくのか</p> <p>(2) 市独自でコメの価格補償制度を創設するよう求める</p> <p>(3) 小規模、家族経営の農家に対し、農業機械の購入助成を充実するよう求める</p>
11	7	2 番 森 和 之	<p>1 学童保育について</p> <p>(1) 高梁学童保育において、夏休みの申請人数が多く、新設されたNPO法人Colorの学童保育を利用する家庭もあった。増加傾向にある学童保育の利用者に今後どう対応していくのか</p> <p>(2) 慢性的に不足している学童保育指導員の処遇改善が急務であると考えますがどうか</p> <p>2 夏休みのプール開放について</p> <p>(1) 暑さ指数(WBGT)を目安として今年度から小学校のプール開放が行われたが、8月のプール開放が中止になるケースが多かった。市としての見解を問う</p> <p>3 水道事業の統合及び料金改定について</p> <p>(1) 令和2年4月1日に上水道と簡易水道が統合することとなった。それにより10年をかけて料金が引き上げられるが、市は市民生活への影響をどのように考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	7	2 番 森 和 之	<p>(2) 国に対して財政支援の要望を行っていると聞いているが、今後の展望を問う</p> <p>4 備中高梁駅東側地区の整備について</p> <p>(1) 備中高梁駅東側の高梁市図書館駅東第1駐車場の利用状況が芳しくないと感じるが、さらなる使用料金の見直し、または駐車場以外の活用も考えるべきではないか</p> <p>(2) 駅東側地区の賑わいを創出するための計画はあるのか</p>